

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	春日市		代表者名	春日市長 井上澄和	
担当者部署	経営企画部		連絡先電話番号	092-584-1118	
担当者役職	主査	担当者氏名	持田 誠一	連絡先E-mail	*****
住所	816-8501 福岡県春日市原町3丁目1番地5				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山澤 浩幸
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	市職員として長年情報政策に携わられた経験を基に、本市が自治体情報システムの標準化・共通化を進めるに当たって留意すべき点について、的確なアドバイスをいただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり			
	2023年5月26日	支援・助言	無	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
				11時00分	12時00分	0
				活動時間（分）	60	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	・標準準拠システム移行をAパターン（プロポーザルによるベンダ切替）からBパターン（現行ベンダ更新）に方針変更するに当たり、その留意事項	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	Bパターンで標準準拠システムに移行する際の課題の把握	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・標準準拠システム移行を現行ベンダ更新で対応する際のコスト削減のアプローチ方法 → 運用サポートのオンライン化、共同化されることによる経費削減要請、同一ベンダを利用する自治体で共同交渉、更新であればデータ移行経費が発生しないことを前提とした交渉 ・外付けアドオンをどこまで認めるか。 → 外付けアドオンはシンプルな内容なので、ベンダロックインの要員にはならない。必要であれば作らざるを得ない。」	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	・標準準拠システム移行を現行ベンダ更新で対応する際のコスト削減のアプローチ方法 ・ガバメントクラウドの利用に当たり早急に対応すべきこと などが理解できた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	標準準拠システムへ円滑に移行し、システムの安定稼働を図ること。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。
なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

報告日

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

